

屋台骨の「カメラの鏡筒部品加工」が縮小傾向迎える 「高付加価値製品、自社製品の確立、追求にシフト」

向は3年前から顕著となり、例えて言えば1

東栄技工は今年で創業から50周年という節目を迎えている。

製造課の安藤主事は「創業者は佐藤現会長で、投影機に関連する交換レンズの仕事を従事していた。アルミの精密部品加工で独立を果たし、以来、弊社は、納期と品質に配慮しつつ、カメラの鏡筒部品をメインに手掛けてきた」と、特徴を交えた経緯を説明しながら「受託分野であるカメラ業界は、携帯電話の普及に伴い、鏡筒関係に入り、量的縮小を迫るようになつていく。特にその傾向は3年前から顕著となり、例えて言えば1

「工具寿命が15%〜20%伸長」

「最近では、小ロットの鏡筒部品についても、時間短縮のメリットを追求するためにスーパーG1チャックの活用を図っている」そうで「総数では、およそ30本はある。ユキワ精工という括りでは、最近、インデックスも導入するようになり、うへ、モータのため、バックラッシュがない利点に感謝している」と佐藤主任は語った。

「工具寿命が15%〜20%伸長」

昨年6月にブラザー工業製スピーディオ2台同時追加導入
ツリーリングは取引商社の勧めでスーパーG1チャックを選定



刃物の長寿命化など、スーパーG1チャックの効用を語る佐藤主任

「テスト加工で
切削スピード上げたが、
面素度、寸法精度共にアップ」

G1チャックについては、特に上司からの指示もあり「まずは試してみよう」でスピーディオに搭載しスタート。
オペレーターの佐藤主任は「付加価値の高い部品のテスト加工で



高付加価値製品追求のツールとしても活躍する

「刃物の
倒れもなく、
不良率低減にも貢献」

創業50周年迎えた東栄技工（福島県・南相馬市）
ユキワ精工製ツリーリングユーザー訪問 ― 安藤主事、佐藤主任に聞く

およそ一年でスーパーG1チャック総数30本に

ツリーリングシステム
スーパーG1チャック



ツールホルダーを
変えると、
生産性が向上する



YUKIWA

ユキワ精工株式会社

スーパーG1チャック

検索

<https://www.yukiwa.co.jp/>

Precision Grade No.1
G1
Super G1 Chuck

本社・工場/〒947-0052 新潟県小千谷市千谷2600番地1 TEL.0258-81-1111(代) FAX.0258-81-1112
営業所/東京、名古屋、大阪、中国(上海)、U.S.A.

お客様から
ありがとう
と言っていただけ
ツールホルダー